

# いよいよいよいよはあ

— 平成30年 冬号 —

● 発行元 ●  
 日本赤十字社富山県支部受託  
**富山県立乳児院**  
 富山市牛島本町2丁目1番38号  
 電話 076-432-8137  
 FAX 076-432-8238

## みんなの思い出 クリスマス会

12月21日はクリスマス会の予定でしたが、インフルエンザに罹患した子どもたちが出たため中止に…しかし、子どもたちは回復に向かっており、ケーキやプレゼントは準備万端！！となれば…

急遽、サンタクロースとトナカイに扮した職員（イベント大好き！！）が鈴を鳴らして子どもたちの前に登場しました！！突如現れたサンタとトナカイに驚いていた子どもたちですが、泣かずにサンタさんから、一人ひとりプレゼントを貰い一緒に写真も撮りました。

「来年も来るよ」とサンタさんは帰っていきましたよ。見たかったのは子どもたちの笑顔！！そう、この笑顔なんです◎



年頭の初めに当たり、日頃より皆様には富山県立乳児院事業へのご理解・ご支援をいただき感謝申し上げます。

乳児院の子どもたちの近況は、12月にインフルエンザの罹患者が出てクリスマス行事が縮小開催となりましたが、年末には体調も戻り元気に正月を迎えています。元日にはおせちをいただき、黒豆やきんとんなどの祝い肴を美味

いります。

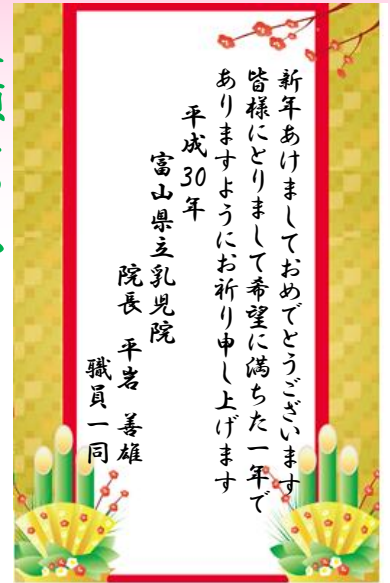
また、今年の当乳児院の目標は、小規模保育実施に向けた取り組みの継続、児童との個人対応の充実、地域子育て支援の実施です。これら目標の達成にむけて、職員一同で取り組んでまいります。

「乳児院の存続を危惧する声」も聴かれ、これからの乳児院が家庭的養育の推進に向けた機能強化や多機能化のニーズ対応を求められるという重要な課題を提起されています。

「幸せに」と願いました。（後日、千歳飴とお土産のかまぼこは、子どもたちみんなでいただきました。）

御祈祷をしていたいた時は緊張からか泣き顔になる子どももいましたが、千歳飴や風船を貰うとニッコリ。引率した職員は子どもたちの健やかな成長を喜び、これからも「健康に」

## 年頭にあたって



新年あけましておめでとうございます  
 皆様にとりまして希望に満ちた一年でありますようにお祈り申し上げます  
 平成30年  
 富山県立乳児院  
 院長 平岩 善雄  
 職員一同

しそくに口に運んでいました。

1月に入り、零度以下の気温の日や降雪が多くなるなど寒い日が続いています。子どもたちは晴れ間の雪遊びを楽しんでいます。

ところで乳児院に関する話題では、昨年8月には、厚生労働省の新たな社会的養護の在り方に関する検討会から、「新しい社会的養育ビジョン」が公表され、大きな関心を集めました。

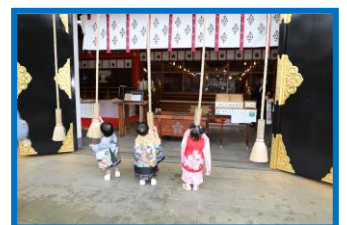
「乳児院の存続を危惧する声」も聴かれ、これからの乳児院が家庭的養育の推進に向けた機能強化や多機能化のニーズ対応を求められるという重要な課題を提起されています。

7五三詣り

11月中旬、あいにくの雨模様でしたが、今年も三人の子どもたちが七五三の参拝に行ってきました。

事前に衣装合わせと草履で歩く練習をしました。女の子の着物姿はとても可愛くて、男の子の羽織袴姿はともかくこ良く、みんなにほめられて得意満面！！草履での歩きにも少し慣れて当日を迎えました。

御祈禱をしていたいた時は緊張からか泣き顔になる子どももいましたが、千歳飴や風船を貰うとニッコリ。引率した職員は子どもたちの健やかな成長を喜び、これからも「健康に」



## これからの行事

2月 豆まき



3月 ひなまつり



「」寄付ありがとうございました。

10月

- バンドシ 嘉子さん (東京都)
- 稲吉 庸子さん (東京都)
- 上野 真由美さん (千葉県)
- 三枝 沙織さん (東京都)
- 宮本 彩さん (愛知県)
- 長瀬 美咲さん (東京都)
- 加藤 広さん (富山県)
- 三宅 有依子さん (富山県)
- 山田 まりさん (東京都)



11月

- 高倉 慶子さん (石川県)
- 道林さん (富山県)
- 宮本 彩さん (愛知県)
- 山下 さちさん (東京都)
- アトリエ Zenkichi 稲澤 廣明さん (富山県)
- 山田 まりさん (東京都)
- 牛島 桜子さん (富山県)
- 稲吉 庸子さん (東京都)
- 門司 一徹さん (東京都)



● 上野 真由美さん (千葉県)

● 長瀬 美咲さん (東京都)

● 滝口 陽介さん (東京都)

● ホットトットクラブ

● 京井 克幸さん (富山県)

● 公益社団法人富山県善意銀行さん

● 日本ベビーフード協議会さん

● よしだ医院

● 院長 吉田 誠さん (富山県)

● Y・Yさん (富山県)

● T・Nさん (富山県)

大事にしてきました。年頃なので、大人と一緒にいたがらなくなる日

がいつくるかとの不安もあります。

A君と暮らしはじめた頃にこんなことがありました。A君は我が家

に来たときから辛いものが苦手でした。夕食で初めてカレーライスを

作るときに甘口がいいか尋ねてみたところ、「カレーは中辛でしょ

う。」と返答がありました。中辛で作

り続けていました。何ヵ月も過ぎた頃に「実は、甘口の方がい

い・・・。」と白状したのです。「あ

あやっぱりね。」と心の中でうなづ

きました。その日を境にして「肉と野菜は別にして。」等、食事につ

いてクレームが出るようになりまし

ているようで、嬉しい部分もありま

す。

里親だからといって、決して特別

なことをしているわけではありま

せん。毎日ご飯を作ったり、洗濯し

たり・・・。A君の生活を気遣い、

健康や成長を願う普通の親です。寄

り添うことで、子どもが自分への肯

定感を高め、人生を力強く拓いて

いける力になると信じています。

富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は、体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院 “病児保育室『おひさま』だより”～

# 「元気にな～れ!!!」



去年は感染性胃腸炎が流行り、多くのお子さんがおひさまを利用されました。年末からインフルエンザも流行ってきています。

インフルエンザは急速に出現する悪寒、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛がみられます。ときには腹痛、嘔吐、下痢といった胃腸症状も伴う場合があります。感染性胃腸炎で利用された子がインフルエンザにもかかっていたことも。症状が変わったり、ひどくなったら受診をお勧めします。

## スタッフ日誌より

- 車が大好きなお子さんです。
- おひさまにある車と持参された車の本を見比べたりして、機嫌良く過ごしていました。
- 子どもは一人ひとり個性があり、好きなものも違ってきます。ご利用の際にはお気に入りのものを持参して頂くことも可能です。



里親制度についてのお問い合わせは

富山県里親支援機関事務局

TEL076-432-8137

(富山県立乳児院内)

平日9時～16時

